

KOBE シニア元気ポイント

対象となる活動

対象となる活動は次のような施設職員の指示を受けて行う軽微かつ補助的な活動。初めてでも安心して取り組める

- (1) 話し相手・傾聴・散歩相手
- (2) お茶だし・配膳・下膳の補助
- (3) 施設内移動の補助
- (4) 入浴前後の補助(整髪、衣類整理等)
- (5) レクリエーションの補助
- (6) 利用者が利用する場所の簡易な清掃・消毒
- (7) 菜園等の手入れや水やり
- (8) 洗濯物の整理、寝具の環境整備
- (9) 芸能等の披露(演奏、歌、演芸等) など

◇2時間未満の活動で100ポイント、2時間以上の活動で200ポイント付与。(1日の付与上限は200ポイント)
 ◇1年度間に貯められるポイントの上限は8,000ポイント(1ポイント=1円、交換は1,000ポイント単位)



高齢者施設での活動の様子

神戸シニア元気ポイントのHP



高齢者生き生き 社会参加



神戸市西区の畑淑恵さん

「神戸マラソンエキスポ2022」でランナーの受け付けを担当する畑さん(左)=神戸市中央区港島中町6、神戸国際展示場



たくさんあるゼッケンから丁寧に探し出す

勤務を終えた会社員が「ください」と優しい声掛けめかけの神戸・ポートアイを忘れない。「歳の近いシランドの神戸マラソンエキスポランナーも多くて、皆スボ会場。黄色いスタッフさんすごいなと感心しましチャンパーを羽織った神戸す」と笑顔を見せる。

市西区の畑淑恵さん(68)が「KOBEシニア元気ポイント」制度は、市営地下鉄の広告でたまたま見かけ付けをしていた。後ろに付けて興味を持ち、説明会に控えるスタッフにナンバー参加した。活動先を探すと、を伝え、アスリートピラスが通う認定こども園を見つけたので登録。7月から週2回、午後の2時間あまりに手渡すときは「頑張つてあてている。仕事の内容

イベント運営補助、こども園の清掃や消毒…

通常の活動に加えて、今回の神戸マラソンのようなイベントの運営補助にもときどき参加。「一人で参加するのも、他の活動者と協力するのも、どちらも楽しんでる。ヘルパーの資格を持っているので、母が通っている介護施設の活動補助も機会があればやってみたい」と意欲を見せる畑さん。

「少しだけ人の役に立てて、自分の健康のためにもいい。両方うれしい」と充実感をにじませていた。

は園内の清掃や消毒、洗濯物の整理、保育士の工作の手伝いなど。「最近では『傷んでいる絵本を修理しておきましょうか』など自分から仕事を探することも。園児に直接お世話話はないが、寄つて来てくれるのでおしゃべりするのが楽しい。これぐらいのペースや時間なら無理なく通えそう」と話す。

心身の健康増進、獲得ポイント換金

「KOBEシニア元気ポイント」制度

「元気な高齢者の社会参加を促す「KOBEシニア元気ポイント」制度の活動場所が広がっている。活動を通じて心身の健康増進が期待できるだけでなく、ICカードを利用してポイントが付与される制度。対象は65歳以上の市民で、1143人が登録している。活動の受け入れ場所は高齢者施設から始まり、現在は児童施設、イベントなどの運営補助などにも拡大中。制度を利用して生き生きと活動する女性を取材した。

65歳以上の神戸市民対象、3月末までキャンペーン 活動者に登録 800ポイントを付与

「KOBEシニア元気ポイント」制度は65歳以上の市民を対象とする神戸市の委託事業で、2020年10月に始まった。活動するとポイントがたまり、年に1回現金と交換できる。

現在の活動場所は、登録された高齢者施設や児童施設(22年12月時点で175カ所)。またマラソン大会、ワクチン大規模接種会場での案内など、施設外の活動対象もある。活動項目は、話し相手、配膳、移動補助、レクリエーション補助、清掃、菜園手入れなど9項目ある。

ポイントは市の敬老バス、福祉バス、PiTaPaなどICカードのいずれかに記録する。2時間

未満で100ポイント、2時間以上で200ポイントが付与され、年間上限は8千ポイント。1ポイント1円、千ポイント単位で年度末に換金できる。

まず各区や神戸・三宮で定期開催している事前の説明会に参加し、活動者に登録。登録施設の一覧から活動先を選んだら自分で連絡し、面談のうえ日程、活動内容などを相談して決定する。

新たに活動者登録すると800ポイントが付与されるキャンペーンを3月末まで実施中。

詳細は同事務局のホームページ(HP)で。説明会の申し込みは同事務局☎078・335・6543(平日のみ)